

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県 遊佐町

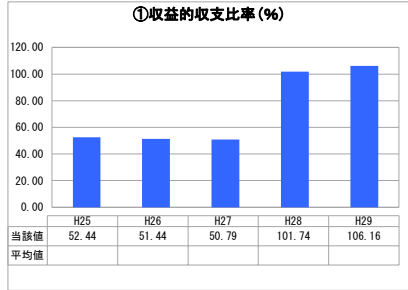
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	10.93	91.83	3,672

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,146	208.39	67.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,540	1.15	1,339.13

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



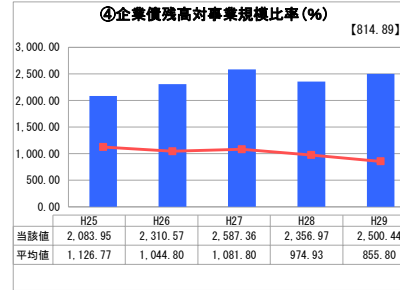
「単年度の収支」



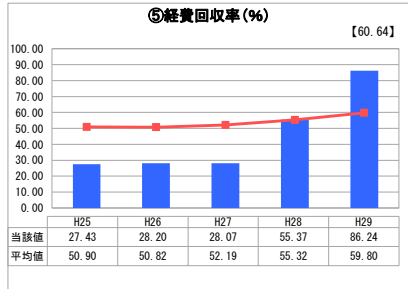
「累積欠損」



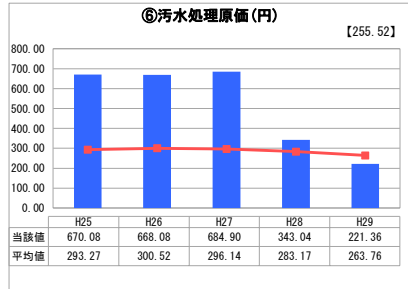
「支払能力」



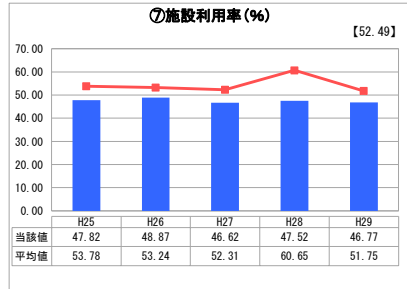
「債務残高」



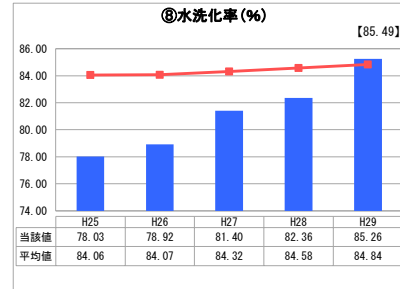
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

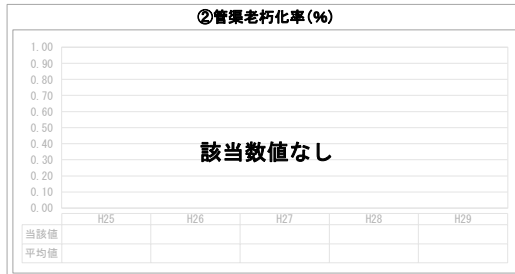


「使用料対象の捕捉」

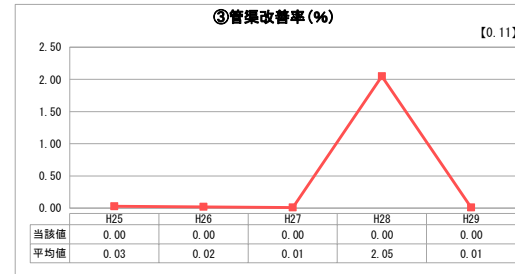
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、維持管理費と地方債償還金が減少し、経費回収率も大きく向上したため昨年度よりも比率が上がった。  
 ②累積欠損金比率については、該当数値なし。  
 ③流動比率については、該当数値なし。  
 ④企業債残高対事業規模比率については、類似団体と比較して高い数値で推移しているが、新たな借入の予定がないことから今後比率は下がっていくと思われる。  
 ⑤経費回収率については、汚水処理費が大きく減少したため回収率が80%を超え、類似団体と比較しても高い数値となった。  
 ⑥汚水処理原価については、汚水資本費が減少したため昨年度より低い数値となり、経費回収率の向上にもつながった。類似団体と比較しても低い数値となった。  
 ⑦施設利用率については、類似団体と比較して大差はなく、ほぼ横ばいで推移している。  
 ⑧水洗化率については、右肩上がりでも推移しており、類似団体と比較して高い数値となった。整備工事が完了しているため、さらなる接続率の向上に向けた取組が必要である。

### 2. 老朽化の状況について

管渠の更新等については未着手である。法定耐用年数が経過するまで期間があるが、計画的な更新について検討が必要である。

### 全体総括

収益的収支比率、経費回収率、水洗化率で数値が向上し、経営が改善傾向にある。しかしながら企業債残高対事業規模比率は依然類似団体と比較して高い数値となっており、経営を圧迫している。整備工事が完了しているため、水洗化率のさらなる向上と的確な使用料収入の徴収に努め収入の増加を図るとともに、汚水処理費にかかる必要経費の見直しを行いさらなる経営改善に向けた努力が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。